7. 計画の構成(案)

現状と課題、将来像（案）を基に、以下のとおり計画の構成を検討しました。

【現状と課題】

・里山が荒廃した結果、生活環境も以前と比較し悪化している
・山林や農地の再生が求められている

【対応】

里山環境を再生する

【現状と課題】

・在住者の３割以上の人が貴重な場所ということを知らない
・来訪者は里山に関心はあるが地域の住民・団体の活動をよく知らない
・来訪マナー等の情報が適切に発信できていない
・まちだの里山をＰＲする場がある
・地域の課題が整理・共有されていない
・地域の将来像がみえていない

【対応】

地域内外の認識や認知度の向上に取り組む

【現状と課題】

・在住者は北部丘陵以外のエリアの人や団体が参画することについて賛成している人が多い
・子どもも安心して訪れることができる里山であることが求められている
・地域内外の人の交流や回遊を促す場が求められている
・散策の環境の充実が求められている
・現地を訪れたくなるコンテンツを不足している
・活動の担い手の活躍の場や機会の充実が求められている

【対応】

実際に里山を訪れ・関わる人を増やす

【現状と課題】

・在住者は里山を将来にわたって残していくことを求めている
・在住者は地産地消の推進など、生産地であることを活かしていけるとよいと考えている
・地域資源を活用して地域おこしやイベント等を実施したい事業者がいる
・市内の事業者が連携して事業を行う具体的なアイディアが出ている

【対応】

事業者等と連携して里山の環境・資源を活用する

【現状と課題】

・在住者は不法投棄を抑止し環境を改善していけるよいと感じている
・子どもたちが安心して歩ける環境が求められている
・在住者は地域のコミュニケーションの機会を充実できるとよいと考えている
・来訪者が増加した結果、私有地への立ち入り等が発生している

【対応】

より一層居心地のよい暮らしを実現する

【計画の構成（案）】

【将来像】 住む人も訪れる人も居心地のよい まちだの里山

基本施策1 まちだの里山を知る

■ねらい・目的（何のための施策なのか）
○多世代の在住者がまちだの里山が貴重な場所ということを知るため
○来訪者が地域の住民・団体の活動を知るため
○広くまちだの里山の魅力を発信するため
○地域の課題を整理・共有するため
○地域の将来像を共有するため

基本施策2 まちだの里山を訪れる

■ねらい・目的（何のための施策なのか）
○実際に訪れてまちだの里山の魅力を体感してもらうため
○市内外の人や団体の活動を受け入れるため
○訪れる人と地域の人・団体が交流するため
○訪れた人の満足度を高めるため

基本施策3 まちだの里山で働く

■ねらい・目的（何のための施策なのか）
○まちだの里山の自然資源を活用した事業を実施する環境を整えるため
○自然体験のニーズに応える事業を実施する環境を整えるため
○民間事業者による事業を受け入れるため
○地域内外の人・団体が持続的に里山環境を活用する基盤を構築するため
○生産地であることを活かし、商売を始める基盤を構築するため

基本施策4 まちだの里山に暮らす

■ねらい・目的（何のための施策なのか）
○地域が活性化し人の目が入ることで不法投棄の抑止など、安全・安心な里山環境を実現するため
○まちだの里山での暮らしの魅力を発信し、移住・定住を促進するため
○まちだの里山での暮らしにあこがれや愛着を抱く人を増やすため